

【2020年度第2四半期決算 補足説明資料】

1. 2020年度第2四半期決算

< P 4 ~ 1 1 >

- 売上高はガス販売単価の低下、業務用や卸供給等の販売量の減少等により、4期ぶりの減収となりました。
- 営業利益・経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益は2期連続の増益となりました。経常増益の主な要因は、減収額を超える売上原価の低下（ガス事業における販売価格と原料購入価格の変動に起因するスライド影響）と、新型コロナウイルス感染拡大に対処するため販売促進活動の抑制や、出張の自粛等の事業活動抑制を余儀なくされたこと等による諸経費の減少です。
- ガス事業の本格的需要期をこれから迎えること、新型コロナウイルスの影響を引き続き慎重に見極めていく必要があること、夏場にかけて原油価格は反転して上昇しており、この影響も見極める必要があることから現時点では8月7日に公表しました通期見通しを変更しておりません。
- 2020年度通期は、前期実績に比べ、経常利益ベースで減収・減益を見込んでおります。
- 2020年度の株主さまへの配当は、年間9円を予定しております。

2. 広島ガスグループ2030年ビジョン

< P 1 3 ~ 1 5 >

- 「幸せにつながる感動発信」をスローガンに、4つの基本方針と6つの基本戦略を掲げ、2030年の目指す姿の実現に向け、さらなるエネルギー事業の強化に取り組みます。
- グループ全体の収益性と安全性を高め、強靱な企業グループを構築するとともに、持続的な発展を目指します。

3. 中期経営計画

< P 1 7 ~ 1 9 >

- 2019年度ガス需給計画にて、LNG販売等を含めた販売量では、2020ビジョンで掲げた6億m³を1年前倒しで達成しました。
- 設備投資計画については、都市ガス事業では、需要の拡大に対応し、安定供給のベースとなる製造、供給インフラの整備、LPG事業では、コミュニティーガス団地における経年劣化した導管をPE管等、耐震性の高い導管への取替促進など、保安対策を実施してまいります。

4. トピックス

< P 2 1 ~ 2 3 : 各種サービスの充実 >

- 2017年4月のガス小売全面自由化以降、当社供給エリアでは新規事業者の参入はありませんが、今後もお客さまから選択していただけるよう、ポイントサービスをはじめ新たな料金サービス等を実施しています。

< P 2 4 ~ 3 0 : 新規事業等への取り組み >

- 2030ビジョンに掲げる地域貢献、新たな事業収益基盤の構築に加え、ESG経営、SDGsへの貢献およびを念頭に、バイオマス混焼発電事業をはじめ、北米発電事業への出資、里山再生事業、小水力発電事業への参画、広島空港民営化運営新会社への出資等を行っています。

< P 3 1 ~ 3 2 : 広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言 >

- 当社グループは、2020年10月に、「広島ガスグループ このまち思い SDGs 実行宣言」を策定いたしました。今後は、2030ビジョン達成につながる事業活動と、SDGsを共通の目標と捉え、CSR活動、ESG経営、そしてSDGsの取り組みを一本化して進めてまいります。

以 上